

全国安全週間に併せて労働災害防止の取組を要請しました

令和元年7月3日



「指差呼称」推進運動の取組を説明する瀧川署長

水戸北部中核工業団地(常陸大宮市)連絡協議会が主催する「安全週間の集い(安全大会)」が令和元年7月3日に開催されました。

水戸労働基準監督署の瀧川署長から、管内労働災害の現状を説明し、作業者の不注意や油断が災害につながっているため、危険箇所を確認しながら指差呼称を行うなど、労働災害防止の取組を要請しました。

昨年の水戸労働基準監督署管内における休業4日以上死傷者数は、全産業で721人となり、対前年比113人(+19%)の大幅な増加となりました。特に、製造業や道路貨物運送業、社会福祉施設等の第三次産業の労働災害が急増しました。

事故の型では、転倒災害が161人で最も多く、全体の22%を占めています。また、年齢別では、60歳以上災害が全体の26%を占めています。

水戸労働基準監督署 安全衛生課

電話 029-277-7916